

(案)

文化審議会文化政策部会メディア芸術・映画ワーキンググループの議事の公開について (平成22年4月 日メディア芸術・映画ワーキンググループ決定)

文化審議会文化政策部会メディア芸術・映画ワーキンググループの議事の公開については、文化審議会文化政策部会メディア芸術・映画ワーキンググループ運営規則（平成22年4月 日文化審議会文化政策部会メディア芸術・映画ワーキンググループ決定）第4条第1項に定めるもののほか、下記により取り扱うものとする。

(会議の公開)

1. 会議は、公開とする。ただし、次の(1)から(2)の案件を審議する場合を除く。
 - (1) 座長の選任その他人事に係る案件
 - (2) 上記のほか、座長が、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認める案件その他正当な理由があると認める案件
2. 会議を公開する場合には、会議の日時、場所及び議事を原則として会議開催日の1週間前の日（1週間前の日が行政機関の休日の場合は、その直前の行政機関の休日でない日とする。）までに文化庁ホームページに掲載するとともに文部科学省大臣官房総務課広報室に掲示する。

(会議の傍聴)

3. 会議を傍聴しようとする者は、あらかじめ、文化庁芸術文化課（この項において「事務局」という。）の定める手続きにより登録を受けなければならない。ただし、会議を傍聴することができる者は、次に掲げるものとし、その人数は、原則として次の(1)及び(2)に掲げる人数とする。
 - (1) 放送機関、新聞社、通信社その他の報道機関に所属する者 一社につき一人
 - (2) 前号に掲げる者以外の者 原則として受付の順序に従って事務局が許可する人数
4. 前項の登録を受けた者（次項において「登録傍聴人」という。）は、座長が許可した場合を除き、会議の開始後に入場し、又は会議を撮影し、録画し、若しくは録音してはならない。
5. 登録傍聴人は、前項に規定する行為のほか、会議の進行を妨げる行為をしてはならない。
6. 前二項に規定する行為を行う者に対しては、座長は退場を命ずる等適当な措置をとることができる。

(会議資料の公開)

7. 会議資料は公開とする。ただし、座長は、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、会議資料の全部又は一部を非公開とすることができる。